

## 自己評価シート

## 職員による自己評価

## A環境面

- ・教室は整理整頓され、利用者にもスタッフにも使いやすくなっている。
- ・人数配置やシフト・活動計画については概ね高い評価となっている。

## B利用者への支援内容

- ・学習に関して一人ひとりのニーズに合った支援ができています。
- ・カフェは、リラックスして過ごせる場として支援ができています。

## C関係機関との連携

- ・学校や他機関との連携ができていますため、利用者の情報を保護者と十分に共有ができています。

## D保護者への説明責任・信頼関係

- ・学習・余暇活動の報告を必要に応じて行い、その際に要望や悩みなども聞くことで支援に活かしている。

## E非常時対応

- ・個人情報や管理や虐待に関しては特に気を付けて支援している。
- ・避難方法の習得や避難場所の確認なども行われている。

## 保護者による評価

## A環境面

- ・教室は整理整頓され、気持ちのよい環境になっている。
- ・スタッフの人数や他の利用者との関係は配慮されている。

## B利用者への支援内容

- 学習・余暇ともに利用者や保護者のニーズに応える支援ができています。
- ・教材教具や書籍が準備されている。
- ・カフェの評価が高い。

## C事業所からの情報発信

- ・ホームページなどの情報に対する利用度が少なく評価はあまり高くない。
- ・面談など直接的に関わる支援についての評価は高い。

## D非常時対応

- ・レクタスが保険に入っていることを知らない保護者が多い。
- ・その他、災害や虐待などに関する項目については、概ね高い評価となった。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・清潔で整った環境の中、スタッフや利用者の配置についても配慮がされている。
- ・学習・余暇ともにニーズに応えている支援が保護者にも受け入れられている。
- ・利用者やスタッフ間の面談や学習報告など、直接関わる支援はよくできている。
- ・避難訓練などの実施は十分できている。

## 【相違点】

- ・学校や他事業所との連携について、以前よりも進んでいると感じているスタッフに対して保護者の評価は高くなかった。
- ・ホームページのブログなどを閲覧している保護者が少ない。
- ・保険へ加入していることについて保護者が認識していない。

## 分析・検証してみた

### 事業所の強み

- ・利用者のニーズに合わせた学習支援内容を考え1対1の個別学習を行う。
- ・各学年・教科に対応できるスタッフがいて、それぞれの力を発揮することができる。
- ・カフェコーナーがあること。
- ・レクタス相談支援室があること。
- ・習字・パソコン教室の充実
- ・自立通所ができる立地場所。

### 事業所の改善点

- ・相談支援室の開室に伴い少しずつ学校や関係機関との連携ができつつあるが、まだ全体へは行き届いていないこと。
- ・教室全体として、ホームページへ掲載するなどの情報発信が十分でなかったこと。
- ・保険の加入について、保護者への周知がされていないこと。

### 事業所の改善への取り組み

- ・保護者へは、レクタス相談支援室の活用をはじめ、他の相談室の利用を勧め、学校や他機関との連携が図れるようにしていく。
- ・教室の様子や行事、訓練などについて定期的にホームページへ掲載するなど、教室の情報発信の在り方を考えていく。
- ・保険に加入していることなどがわかるように、基本的な教室利用についてのお知らせを改めて行っていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この1年間、保護者・スタッフともにレクタスとしての内部の活動に対しては全体的に高い評価であったと言える。その中で評価の低かった項目については、反省し今後の課題として取り組んでいきたい。教室の利用者及びその保護者には、日頃から教室運営に関して多大なご理解とご協力を頂いている。今後もより良い関係を気づき続けていくために、更により良い支援を心掛けていきたいと改めて感じた。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス都筑ふれあいの丘教室  
担当者 松田 いづみ